

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立伝法小

学校

児童数

44

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.25	17.58	29.85	36.79	35.58	9.90	149.26	23.50	49.21
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.93	16.93	34.07	37.43	27.14	10.10	140.36	12.31	49.31
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子のソフトボール投げと女子の握力は、全国平均値を上回った。しかし、それ以外の種目では全国平均値を下回った。さらに50m走や20mシャトルランは全国平均値を大きく下回った。

アンケート結果から「運動をすることが好きですか」の質問に対して、男子は80%、女子は35.7%(全国平均値 男子は72.7%、女子は54.1%)が肯定的な回答をした。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が15.8%、女子が23.1%(全国平均値 男子は9.8%、女子は17.3%)だった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

握力やソフトボール投げの結果からは、上肢筋力、巧緻性、瞬発力において一定の成果が見られた。本校の取組みとしては、体づくりを軸にした活動であるチャレンジタイムを年1回、デンリンピックを年2回ずつ実施し、足腰の強化に重点を置いた運動を取り入れた「かけあし運動週間」や「長縄とび週間」にも取り組んだ。また、5校時には、体幹の安定性を高めるための「伝法体操」を習慣的に行った。

しかしながら、全体的な種目で全国平均値を下回っており、特に50m走や20mシャトルランは全国平均値を大きく下回っており、俊敏性や持久力に課題があることがわかった。今年度の取組みを継続していくとともに、さらに課題解決に向けたものとなるよう改善を図っていく。さらに1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が全国平均よりも男女ともに高い割合だった。昨年度と同様に、運動量の確保が重要であり、みんな遊びや新たな運動が好きになる取組みを学校全体で行っていく必要もあると考えられる。